

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 ふれあいきつづ北谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3		・限られたスペースの中で環境を整備しながら児童たちが満足できるように配慮している。 ・外出(公園、児童館)などをして広々とした活動が展開できるよう計画している。	・個別対応を行う上でも個室が一つ必要と感じている。
	2	職員の配置数は適切である		2	2	・緊急時には他事業所協力している。	・個別対応など細かい支援を行うため人員補充が必要と感じる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	2		・現状、利用児童は必要なし。 ・必要に応じ整備を進めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3		・打ち合わせと日々の隙間時間に情報共有を行っている。	・振り返りを行いながら、出来ていないことを出来るよう話し合いを進めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				・アンケート結果後、会議を持ち改善に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		・ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	2		・外部評価はなされていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・外部の指定され研修への参加。内部研修の実施。	・「専門性」を高める上ではより多くの研修を行っていきたい。 ・各職員がどの程度専門性について把握、実行を出来ているかのチェックシート(見えるか)。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・日々の日誌等以外にも保護者とのやり取りを参考にし計画書に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2			・アセスメントツールの使用に取り組んでいく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・毎月の活動案を持ち寄り計画を進めている。	・平日の日課活動に対しても密な打ち合わせが出来るよう取り組んでいく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		・SAQではその日の児童に応じて個人競技や集団競技を展開している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			・土曜日の活動に関しては企画書の作成も行う事で特にきめ細やかな設定が出来ている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			・偏りが出ないように意識して取り組んでいる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		・毎日打ち合わせは行っている。場合によっては出来ない事もあるがその際には児童を把握しながら隙間時間で確認は行う。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		・振り返りが行えない事が多い。緊急性の高い案件に関しては時間を作り共有しているがそれ以外は翌日に共有する。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・実践した内容を記録し改善に繋げている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		・モニタリング後、支援会議を行い計画を見直す。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1			・この機会に職員間で改めてガイドラインの確認を行った。 ・地域との繋がりがボランティアの受け入れはもう少し拡大していきたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	4			・児発管以外のも必要に応じ担 当職員も同席させている。	
	21	4			・学校・保護者からの情報をもと に予定の確認を行っている。	
	22	2	2			・現況受け入れていない
	23	3	1			・現状、その機会自体が少ない
	24	3	1			・機会があれば対応を行う
	25	2	1	1		・そのような連携体制があるようならば活用したい。
	26	3	1		・可能な範囲で児童館の利用を している。	
	27	1	2	1		・機会があれば参加したい
	28	4			・連絡帳の記入以外にも送迎時 に支援内容等伝える時間を作り ます。	
	29	2	2		・全体への研修は行ってない が、保護者からの困り感に対 してすぐに助言や会議等を行っ ている	・全体研修はニーズがあれば開催していきたい。
保護者 への説明 責任等	30	3	1		・契約時に説明。 別途活動費が必要な場合は徴 収金を設定し、説明している。	
	31	4			・上記のように都度助言等を 行っている。	
	32		1	3		・保護者からのニーズがあれば開催を検討したい。
	33	3	1		・苦情に繋がりそうな案件が生 じた場合はその前に保護者と 連絡を取り説明を行っている。 ・体制と窓口はあるので苦情が 生じた場合は迅速に対応が出 来るような仕組みになっている。	
	34	2	1	1	・活動カレンダーや、各活動の お知らせLINEを活用している。	・活動の写真の共有はもっと活用していきたい。
	35	4			・個人情報載っている書類等 は鍵付きのロッカーで管理。 ・シュレッダーの活用	
	36	4			・要望があった際には配慮を行 う体制を整えている	
	37		1	3	・現状行っていない。	・それに向けて地域でのバザーへの参加や、手作りの縁日や バザーなどを事業所内で展開している。その体制を整えれば 展開していきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		・マニュアル完備	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・児童と一緒に訓練をしたり、職員で研修、訓練を行っている	・外部からの招致を行う事でよりリアルに訓練を受けることが出来た。今後も活用していきたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		・研修に参加。実践も行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			・このアンケートを通して社員で再度確認を行った。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		・現在該当児童無し。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・毎月開催。それを基にインシデントレポートの作成。	